

# 全国農業

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

# 新聞

2022年(令和4年)

5月27日 金曜日  
月4回金曜日発行



②

実践している。

【山梨】富士山の北麓に位置する富士河口湖町で2019年から農業委員を務める古屋善治さん(66)は、地元JAの営農指導員として新たな農産物の産地づくりにも奮闘しており、地域農業の担い手育成と農地利用の最適化を自ら

富士北麓地域は夏季の冷涼な気候を活かしてレタスやトウモロコシ、ブロッコリーなどの高原野菜の生産が盛んな地域だが、冬季の最低気温がマイナス10度にもなる寒冷地。このため10月のブロッコリー終了後、

富士河口湖町 古屋善治さん

## 葉ゴボウで春の収入確保へ

### 営農指導員、農委として活躍



翌年5月のレタスの収穫まで農業収入が得られなくなり、これが担い手減少の要因だと古屋さんは感じていた。

そこで古屋さんは、関西方面で流通しているが東日本ではあまりなじみがなく、寒冷地でも比較的栽培しやすい「葉ゴボウ」に注目した。県普及センターとともに、この地域に適した栽培方法などを研究し、今年4月、10戸の農家とともに初出荷を迎えた。

古屋さんは「葉ゴボウを富士北麓地域の特産品に育てて地域農業を活性化し、担い手が増えてくれればうれしい」と話す。

関東